

日本ウマ科学会 2018年度 第1回常任理事会議事録

日 時：2017年11月10日（金）13：30～15：00

場 所：日本装蹄協会 会議室（JRA 新橋分館 7階）

出席者： 青木 会長・臨床担当常任理事
田谷 副会長・編集担当常任理事
田嶋 副会長
近藤 庶務担当常任理事
石田 学術担当常任理事
桑原 国際担当常任理事
鎌田 広報担当常任理事
太田 事務局長

議題：

1. 監事監査報告
2. 2018年度 理事会・評議員会・定時総会について
 - ① 2017年度事業報告（案）ならびに収支決算（案）
 - ② 2018年度事業計画（案）ならびに収支予算（案）

議事概要：

議題1.

- 11月7日（火）に日本装蹄協会にて三浦・武田両監事による監事監査が行われた。特別な指摘事項はなく、書類は正確に処理され、事業は適切に運営されていると報告された。（本年は監事監査と常任理事会とが別日に行われたため、近藤常任理事が代理で報告）

議題2. ①

- 2017年度の事業報告&収支決算について、「2018年度 理事会・評議員会・定時総会 資料」（案）に基づき、事務局より説明がなされ、概ね原案通りに承認された。主な説明点は以下の通り。
 - 正会員数および賛助会員数はほぼ横ばいであった。
 - アイペック様から10万円の臨時広告収入があった。
 - 2018年度学術集会の会場使用料の前払い分を補填するため、国際特別会計から50万円、臨床特別会計から50万円、それぞれ一般会計に繰り戻した。
 - 事務作業の簡略化により、アルバイトの人件費が大幅に減少した。

- 学術誌の出版刊行費は、JES が 3,123,630 円（対前年比 94.8%）、Hippophile が 2,508,300 円（同 105.2%）であり、全体では 5,631,930 円（同 99.1%）であった。昨年度よりは微減したものの、採算ラインを大幅に超えているため、安定的な財源確保策を早急に検討する必要がある。
- 大会開催費 1,233,070 円のうち 731,808 円は、2018 年度学術集会の会場使用料の前払い分であり、残りの 501,262 円が 2017 年度の開催経費となっている。
- 国際交流促進事業（海外渡航支援）への応募がなかったため、国際特別会計からの支出は、前述の一般会計への繰り戻し分だけであった。

議題 2. ②

- 2018 年度の事業計画&収支予算について、「2018 年度 理事会・評議員会・定時総会 資料」（案）に基づき、事務局より説明がなされ、概ね原案通りに承認された。主な説明点は以下の通り。
 - 学術集会の会場使用料の増額に伴い、参加費を会員 5,000 円（現行 3,000 円）、非会員 7,000 円（現行 5,000 円）、学生 2,000 円（現行 1,000 円）にそれぞれ値上げする。
 - 表彰特別会計の残高 726,546 円を全額一般会計に繰り戻し、表彰特別会計の口座は解約する。これに伴い、新たに一般会計に「表彰事業費支出」を計上する。
 - 印刷製本費は、JES Vol. 28 No. 3 と Hippophile No. 70 だけで既に対前年比 32.5%となっており、大幅な支出増が見込まれるため、予算は 6,300,000 円を計上した。
 - Hippophile の編集会議は、2018 年度からは学術集会当日に開催する。
 - 学術集会の会場使用料は、2019 年度からは後払いとなるため、2018 年度は会場使用料の支払いは発生しない。